

## もえるごみ袋増額について

令和3年11月29日

くらし文化部環境課

本市では、ごみ減量や資源分別のため、その促進に効果があるとされている取組の1つとして、「もえるごみ袋を増額する」という検討を始めました。

### 1 実施開始予定

令和5年7月1日から

### 2 予定金額

#### 【実施前】

| 種類          | サイズ | 袋1枚の価格 |
|-------------|-----|--------|
| もえるごみ       | L   | 15円    |
|             | S   | 10円    |
|             | SS  | 8円     |
| プラスチック製容器包装 |     | 15円    |
| もえないごみ      | L   | 20円    |
|             | S   | 15円    |

#### 【実施後】

| 種類          | サイズ | 袋1枚の価格 |
|-------------|-----|--------|
| もえるごみ       | L   | 50円    |
|             | S   | 30円    |
|             | SS  | 20円    |
| プラスチック製容器包装 |     | 15円    |
| もえないごみ      | L   | 20円    |
|             | S   | 15円    |

### 3 ごみ減量とごみ袋増額に向けて本年度市が取り組んでいること

#### (1) 「長久手市ごみ減量大作戦」と題した取組の実施

ア 市広報で年間を通して特集ページを掲載

イ 市内全小中学校で各校3回のごみ減量出前講座を実施（全27回）

#### (2) もえるごみ袋増額予定のお知らせを広報8月号折込チラシで全戸配布

#### (3) 市ホームページにもえるごみ袋増額に関する特設ページを開設

### 4 もえるごみ袋増額と併せて実施を検討している施策の一例

(1) プラスチック製容器包装を隔週から毎週、古紙・ペットボトルを月1回から月2回に回収頻度を増加。

(2) ごみ収集時間の短縮やそれに伴うカラスや猫などによるごみ散乱被害対策のため、ごみ収集車を増台。

### 5 今後のスケジュール

令和3年10～12月 地域意見交換会（各小学校区全32回）

令和4年 1月22日 地域意見交換会（文化の家）

6月 条例改正議案提出

7月～ 周知期間、市民説明会

令和5年 5月～ 新もえるごみ袋販売開始

7月1日～ 新もえるごみ袋でのごみ回収実施

## 6 もえるごみ袋増額に関する意見交換会の実施（全32回）

### (1) 開催日、参加人数

|        | 開催場所                      | 開催日                                       | 参加人数 |
|--------|---------------------------|-------------------------------------------|------|
| 南小校区   | 南小校区共生ステーション<br>まちづくりセンター | 10/4、10/6、10/9、10/12<br>10/14、10/17       | 37人  |
| 北小校区   | 北小校区共生ステーション<br>旧下山児童館    | 10/19、10/22、10/27、10/30<br>11/2、11/4、11/6 | 47人  |
| 西小校区   | 西小校区共生ステーション              | 11/9、11/10、11/13、11/16                    | 33人  |
| 市が洞小校区 | 市が洞小校区共生ステーション            | 11/18、11/24、11/27、11/30、12/2              | 実施中  |
| 東小校区   | 大草中集会所<br>北熊公民館<br>福祉の家   | 12/6、12/11<br>12/10、12/12<br>12/16、12/18  | —    |
| 長久手小校区 | ながくてエコハウス                 | 12/14、12/21、12/23、12/25                   | —    |

### (2) 意見交換会でいただいた主なご意見（全体版は別添のとおり）

Q1 もえるごみ袋増額の主目的は何か。

A1 「ごみの減量」が主目的であり、ごみの発生抑制や資源の分別行動を市民に促したいと考えています。

Q2 紙おむつや剪定枝など減量が困難な品目は増額対象から除外してほしい。

A2 意見交換会でのご意見を踏まえ、関係部局と連携しながら議案提出前までに検討させていただきます。

Q3 価格の段階的な引上げはできないのか。

A3 ごみの抑制効果が薄れることから、段階的な引上げは考えていません。

Q4 ごみ袋を増額すると不法投棄が増えるのではないか。

A4 先行してごみ袋を増額した知多地域の自治体を直接訪問し担当者に聞き取りをしましたが、特に増減していないとのことでした。

Q5 ごみ袋を裂けにくい素材に変更してほしい。

A5 ごみ袋の種類は大きく分けて2種類あり、強度が強く薄くできるが尖ったもので一度裂けると一気に裂ける高密度ポリエチレン（本市が採用）と、裂けにくいが強度が弱く穴が開きやすい、伸びやすくちぎれやすい低密度ポリエチレン（瀬戸市・尾張旭市が採用）があります。双方にメリット・デメリットがありますが、今後、市民のご意見も聞きながら、見直しについては検討していきたいと考えています。

Q6 プラスチック製容器包装の指定袋のSサイズを作してほしい。

A6 市民からの要望が多いため、前向きに検討したいと考えています。

Q7 現在のもえるごみ袋は増額後も使えるのか。

A7 使用できません。新旧の区別ができるよう現在の白色から色を変更する予定ですが、残った旧袋はほぼ等価で新袋と交換対応する予定です。

## 意見交換会の主な意見（南小校区）

| No. | 分類           | 内容                                                             | 回答                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----|--------------|----------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | ごみ減量について     | 既に分別をきちんと行っている市民は、資源の分別を徹底してもごみの減量につながらないと思う。                  | いつも分別にご協力いただきありがとうございます。市が行っているごみの組成調査では、ごみの中に含まれる資源の割合を調査していますが、もえるごみ袋の中には34.3%もの資源がごみとして排出されていることから、しっかりと分別していただくことでごみ減量につながると考えています。                                                                                                                      |
| 2   | ごみ減量について     | ごみ袋を増額して、今より15%のごみを減量したら、どのようなメリットがあるのか。                       | 組成調査の結果によると、平均的なごみ袋（約3kg）の中には、重量比で約44%の生ごみと約34%の資源が混ざっていました。生ごみは、80%は水分なので、水切りのひと絞りで約2割減量することができます。資源については、しっかりと分別していただくことで減量に繋がると考えています。各家庭のごみの減量や資源の分別が進むと、今の袋よりサイズダウンすることができます。また、収集する際に持ち運ぶ負担が減ったり、晴丘センターへ搬入するまでに収集できる量が増えるため、収集時間も現在より早く収集できるメリットがあります。 |
| 3   | ごみ減量について     | 組成調査の結果から見ると生ごみが、やはり多いので、生ごみだけ別で分別する方法は無いのか。地域でコンポスト等の設置できないか。 | 生ごみですが、現時点では分別していただいたとしても近隣で持ち込んで資源化できる施設がありません。コンポストの設置ですが、ご意見として参考とさせていただきます。                                                                                                                                                                              |
| 4   | ごみ減量について     | 剪定くず専用の袋があると良い。                                                | 剪定くずに関しては減量の難しいごみと認識しています。ごみ袋の増額は、令和4年6月議会で条例改正議案を上程する予定です。それまでには意見交換会を踏まえ、剪定枝の扱いの方向性を決定する予定です。                                                                                                                                                              |
| 5   | 増額の値段設定について  | 値段を3倍にあげる理由は何か。                                                | 全国で可燃ごみ袋の値上げを実施した自治体のごみをどれだけ減量できたかを、ごみ袋の価格帯ごとに調査した研究と県内市町村の実績に基づき、もえるごみ袋Lサイズを1枚50円にすることで長久手市が目標としている15%以上のごみ減量効果が期待できるからです。目標を達成するために他の新たなごみ減量施策と合わせて実施していきたいと考えています。                                                                                        |
| 6   | 増額による負担増について | もえるごみ袋の増額により、袋の値段が倍以上になり市民への負担が大きくなるがどのように考えているか。              | これまでは、ごみ袋の価格が比較的安価だったため、ごみ量の多い人も少ない人も負担の大きさを実感することはありませんでしたが、増額することで、ごみを多く出す人の負担は大きく、ごみ減量に努力した人の負担は小さくなり、負担の公平性が図られます。また増収分でごみ収集サービスの拡充に充てることができるため、市民へ還元できると考えています。                                                                                         |
| 7   | 段階的な引き上げについて | もえるごみ袋の料金について、いきなり上げるのではなく段階的に上げられないのか。                        | ごみの抑制効果が薄れることから、段階的な引き上げは考えていません。                                                                                                                                                                                                                            |
| 8   | 旧ごみ袋について     | 現在の指定ごみ袋は増額後も使用できるのか。                                          | 現在の指定ごみ袋（白色）は、増額後は使用できなくなりますので計画的にご購入ください。                                                                                                                                                                                                                   |
| 9   | 旧ごみ袋について     | 増額後に、現在の指定ごみ袋（白色）が残ってしまったらどうすればいいのか。                           | 増額後に残ってしまった現在の指定ごみ袋については、一定の交換期間を設け、新しい袋への交換を行います。交換対象は、未使用品に限ります。新旧で販売金額が異なりますので、例えば旧ごみ袋10枚に対して新ごみ袋3枚の交換を検討しています。交換期間等詳細については、改めて市広報等でお知らせします。                                                                                                              |

# 意見交換会の主な意見（南小校区）

| No. | 分類         | 内容                                                                           | 回答                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----|------------|------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10  | 旧ごみ袋について   | 増額すると聞いて、ごみ袋の買いためが起きるのではないか。                                                 | 現在のごみ袋は増額後は使用できなくなります。増額に伴い、新しいごみ袋を作成しますが、新旧の区別がわかりやすいよう、現在の白色から色を変更する予定です。                                                                                                                                                                                                         |
| 11  | ごみ袋の仕様について | もえるごみ袋のLサイズが45リットルの市町村もあるが、長久手市は45リットルにしないのか。                                | 現在の長久手市のもえるごみ袋Lサイズの大きさは34リットルですが、45リットルに大きくすると、それだけごみを多く入れることができ、ごみ減量には逆効果となるため、袋のサイズを大きくする考えはありません。                                                                                                                                                                                |
| 12  | ごみ袋の仕様について | もえるごみ袋が裂けやすく困っている。他の市町村よりも材質が悪いのではないか。裂けにくい丈夫な材質に変えてほしい。                     | ごみ袋の種類は大きく分けて2種類あり、伸びやすいタイプのもの（低密度ポリエチレン）と伸びにくいタイプのもの（高密度ポリエチレン）があります。伸びやすいタイプのものは重量のあるものと伸びて持ち手部分がちぎれてしまう恐れがあります。伸びにくいタイプのものは重量のあるものでも耐えられますが、紙の角などで裂けやすいです。双方にメリット・デメリットがありますが、現在のところ、レジ袋に代表されるように耐久性が高いため、伸びにくいタイプ（高密度ポリエチレン）のもので作っています。今後、市民のご意見も聞きながら、見直しについては検討していきたいと考えています。 |
| 13  | ごみ袋の仕様について | Sサイズのプラスチック製容器包装が欲しい。もえるごみ袋を増額するだけでなく、分別を徹底するために、プラスチック製容器包装の袋を減額するのは施策はどうか。 | プラスチック製容器包装のSサイズは、市民の皆さんの要望が多いため、検討していきます。手数料については、市場価格と相応しており減額する予定はありません。                                                                                                                                                                                                         |
| 14  | ごみ袋の仕様について | ごみ袋に広告を付け、市の財源にできないか。                                                        | 実際にごみ袋に広告を付けて、市の財源にしている市町があります。ご意見として参考とさせていただきます。                                                                                                                                                                                                                                  |
| 15  | ごみ袋の仕様について | ごみ袋のサイズダウンを促すのであれば、もえるごみ袋のLサイズは廃止にしてはどうか。                                    | ご意見として参考にさせていただきます。                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 16  | 資源化について    | プラスチック製容器包装に付着しているシール・汚れ・においなど、取り切れない部分はしたら良いか。                              | プラスチック製容器包装に付着しているシール、汚れやにおいなどの取りきれないものについては、少々残っていてもリサイクルに支障はありません。汚れやにおいは水で軽くすすいでいただき、そのままプラスチック製容器包装として出してください。                                                                                                                                                                  |

## 意見交換会の主な意見（南小校区）

| No. | 分類              | 内容                                                                    | 回答                                                                                                                                                                                |
|-----|-----------------|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 17  | ごみの収集について       | 増額して、市民サービスに還元する中に収集時間を短縮するとあるが、収集時間が遅い理由を知りたい。収集の仕組みを変える等の他の施策はないのか。 | 1台の車両で収集できる量が決まっていますので、晴丘センターへの往復時間がかかります。各家庭から出されるごみの量が多いと、収集時間の遅延にも影響が生じます。ごみ収集の仕組みは、戸別回収と拠点回収のどちらかになりますが、今後は従来どおりの戸別収集を取り入れつつ、新たに拠点回収に協力していただける市民を募り、拠点回収も併せて取り入れていきたいと考えています。 |
| 18  | ごみの減量が困難なものについて | 減量が困難で生活必需品の紙おむつの扱いは、どうなるのか。                                          | ごみ袋の増額は、令和4年6月議会で条例改正議案を上程する予定です。それまでには、意見交換会を踏まえ、福祉部局と連携しながら、紙おむつの扱いの方向性を決定する予定です。                                                                                               |
| 19  | ごみの減量が困難なものについて | 減量が難しい刈草・剪定枝の扱いはどうなるのか。                                               | ごみ袋の増額は、令和4年6月議会で条例改正議案を上程する予定です。それまでには意見交換会を踏まえ、剪定枝の扱いの方向性を決定する予定です。                                                                                                             |
| 20  | 支援の有無について       | 生活保護世帯・低所得世帯への支援はあるのか。                                                | ごみの減量が目的のため、市民の皆さんに平等にごみ減量にご協力いただきたいので、同額の手数料を負担していただきたいと考えています。                                                                                                                  |
| 21  | 不法投棄について        | 増額すると不法投棄が増えるのではないのか。                                                 | 先行してもえるごみ袋を値上げした知多地域の自治体を訪問し聞き取りをしましたが、値上げが原因で不法投棄は増えていません。本市としては、現在も実施しているごみ集積所のパトロールを引き続き行っていきます。                                                                               |
| 22  | 不法投棄について        | これまで不法投棄されているごみは拾って、自身で購入したごみ袋に入れて出していたが、今後お金を払ってまでごみを拾う気持ちになれなくなる。   | 不法投棄を拾った場合、環境課窓口で無料でお渡ししている地域清掃ごみ袋を使用して、ごみを出して下さい。                                                                                                                                |

# 意見交換会の主な意見（北小校区）

| No. | 分類        | 内容                                            | 回答                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----|-----------|-----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | ごみ減量について  | ごみ袋を値上げしないとごみ減量ができないのか。                       | 長久手市では、これまでプラスチック製容器包装の分別収集などごみ減量に努めてまいりましたが、十分なごみ減量が進んでいるとは言えない現状です。そこで、ごみ減量と資源化推進のための施策として、県内の自治体でも進んでいるもえるごみ袋の値上げに至りました。                                                                                                                              |
| 2   | ごみ減量について  | 既に分別をきちんと行っている市民は、資源の分別を徹底してもごみの減量につながらないと思う。 | いつも分別にご協力いただきありがとうございます。市が行っているごみの組成調査では、ごみの中に含まれる資源の割合を調査していますが、もえるごみ袋の中には34.3%もの資源がごみとして排出されていることから、しっかりと分別していただくことでごみ減量につながると考えています。                                                                                                                  |
| 3   | ごみ減量について  | もえるごみを減量するのに、今からでも家庭でできることはあるか。               | 生ごみのほとんどは水分であるため、ごみとして出す前に一搾りしていただくと減量できます。また、プラスチック製容器包装や雑がみなどもえるごみに混入されやすい資源を分別すること、さらに生ごみ処理機を使用することでごみを減量することができます。                                                                                                                                   |
| 4   | ごみ減量について  | 事業系ごみを減らす施策は考えているか。                           | 家庭ごみと並行して実施することを考えています。今年度は、事業系ごみに関しても組成調査を実施し、まずは実態を把握した後、具体的に施策内容を検討してまいります。                                                                                                                                                                           |
| 5   | ごみ減量について  | ごみ袋を増額して、今より15%のごみを減量したら、どのようなメリットがあるのか。      | 組成調査の結果によると、平均的なごみ袋（約3kg）の中には、重量比で約44%の生ごみと約34%の資源が混ざっていました。生ごみは、80%は水分なので、水切りのひと絞りで約2割の減量をすることができます。資源については、しっかりと分別していただくことで減量に繋がると考えています。各家庭のごみの減量が進むと、今の袋よりサイズダウンすることができます。また、収集する際に持ち運ぶ負担が減ったり、晴丘センターへ搬入するまでに収集できる量が増えるため、収集時間も現在より早く収集できるメリットがあります。 |
| 6   | ごみ減量について  | 人口が増えているため、ごみが増えるのは当然ではないか。                   | 確かに人口の増加に伴いごみの総量も増加していますが、合わせて1人1日当たりのごみの量も増加しているため、人口を考慮しても増加傾向となっています。                                                                                                                                                                                 |
| 7   | ごみの減量について | 値上げの目的は、ごみ処理施設の建て替えに充てることも考えているのではないか。        | 今回の増額の主目的は、ごみの減量です。確かにごみが多ければ、処理施設の負担が増え老朽化が進み、補修工事に多くの費用が掛かってしまいます。ごみを減量できれば施設の延命化に繋がりますが、今後施設の建て替えを行うことはいずれにしても必要なことです。現在も施設の建て替えのために、指定袋の手数料ではなく税金で費用の積み立てを行っていることから、もえるごみ袋を値上げしたことで発生した増収分を施設の建て替えの費用に充てることは考えておらず、ごみ・資源の回収に係る施策に充てたいと考えています。        |

# 意見交換会の主な意見（北小校区）

| No. | 分類           | 内容                                                | 回答                                                                                                                                                                                               |
|-----|--------------|---------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8   | ごみの減量について    | ごみ袋増額の本来の目的は何か。                                   | ごみ袋増額の本来の目的ですが、市民の皆様に分別意識、ごみに対する意識を変えていただき、ごみを減量することです。そのためプラスチック製容器包装（資源）の指定袋の値段は変更なしとさせていただき、もえるごみ袋のみの値上げを考えています。もえるごみ袋のみを値上げすることで、現在もえるごみ袋の中に約30%混入している資源を分別する意識を高め、さらにはごみ自体も減量していただきたいと思います。 |
| 9   | ごみの減量について    | ごみ袋に名前を書くようにすれば、責任感が高まり減量に繋がるのではないかと。             | 実際に記名を採用している自治体があり、ごみ出しは自己責任という意識が高まることから効果があると聞いていますが、個人情報保護の観点から長久手市での実施は難しいと考えています。                                                                                                           |
| 10  | ごみの減量について    | 分別ができていない年代や地域に傾向があるのであれば、ターゲットを絞り指導できないか。        | 現在もごみ出しマナーが良くないごみが発生する地域に関しては、日頃からパトロールや表示、本人への通知など行っていますが、今後も良い方法を模索し実施していきたいと考えています。                                                                                                           |
| 11  | ごみの減量について    | 長久手市は県内で見るとごみの成績は悪いのか。                            | 長久手市は現在1人1日あたりのごみの量で見ると県内の成績は悪くありません。しかし、減少傾向にあった1人1日あたりのごみの量が増加傾向に転じ、目標としている量とは大きくかけ離れてしまっているため、ごみを減らしていく必要があります。                                                                               |
| 12  | ごみの減量について    | 1枚50円にして減量効果があった市町は分別意識が高まり減量に成功したのか。             | 実際にごみ袋の値上げを実施した市町を訪問し、担当者に直接実態の聞き取りを行いました。もえるごみの量が減り、資源の量が増えているため、分別意識やごみの減量意識が高まったと言えます。                                                                                                        |
| 13  | ごみの減量について    | マンションでできる生ごみの減量方法はあるか。                            | 生ごみの8割は水分です。ひと絞りで水分をきりを行っていただくことで、約2割の減量が期待できます。水きりの方法は長久手市ホームページの環境課のページでYouTubeによる紹介をしています。また、生ごみを乾燥させる生ごみ処理機に関しては、助成金（予算が残高がある場合に限り）がありますので、購入の際はご利用ください。                                     |
| 14  | 増額の値段設定について  | 有料化した市町は、0円から1枚50円になったのか。                         | 説明資料で例として挙げさせていただいた、直近10年間でごみ処理を有料化した市町は0円から1枚50円になったわけではありません。指定ごみ袋制を従来から採用しており、価格は市場価格（10枚120円～160円程度）と長久手市とほぼ同条件になります。有料化によって条例で定められ長久手市と同様、金額が固定となったため、価格の上がり幅についても本市と同程度です。                 |
| 15  | 増額による負担増について | もえるごみ袋の増額により、袋の値段が倍以上になり市民への負担が大きくなるがどのように考えているか。 | これまでは、ごみ袋の価格が比較的安価だったため、ごみ量の多い人も少ない人も負担の大きさを実感することはありませんでしたが、増額することで、ごみを多く出す人の負担は大きく、ごみ減量に努力した人の負担は小さくなり、負担の公平性が図られます。また増収分でごみ収集サービスの拡充に充てることができるため、市民へ還元できると考えています。                             |

## 意見交換会の主な意見（北小校区）

| No. | 分類           | 内容                                                                           | 回答                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----|--------------|------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 16  | 段階的な引き上げについて | もえるごみ袋の料金について、いきなり上げるのではなく段階的に上げられないのか。                                      | ごみの抑制効果が薄れることから、段階的な引き上げは考えていません。                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 17  | 手数料収入の用途     | 増額による収入は、何に使う予定なのか。                                                          | 値上げによる増収分から、資源の回収頻度の増加や、ごみ収集車両の増台などごみ収集サービスの拡充に充てる予定です。                                                                                                                                                                                                                            |
| 18  | 旧ごみ袋について     | 現在の指定ごみ袋は増額後も使用できるのか。                                                        | 現在の指定ごみ袋（白色）は、増額後は使用できなくなりますので計画的にご購入ください。                                                                                                                                                                                                                                         |
| 19  | 旧ごみ袋について     | 増額後に、現在の指定ごみ袋（白色）が残ってしまったらどうすればいいのか。                                         | 増額後に残ってしまった現在の指定ごみ袋については、一定の交換期間を設け、新しい袋への交換を行います。交換対象は、未使用品に限ります。新旧で販売金額が異なりますので、例えば旧ごみ袋10枚に対して新ごみ袋3枚の交換を検討しています。交換期間等詳細については、改めて市広報等でお知らせします。                                                                                                                                    |
| 20  | 旧ごみ袋について     | 増額すると聞いて、ごみ袋の買いためが起きるのではないか。                                                 | 現在のごみ袋は増額後は使用できなくなります。増額に伴い、新しいごみ袋を作成しますが、新旧の区別がわかりやすいよう、現在の白色から色を変更する予定です。                                                                                                                                                                                                        |
| 21  | ごみ袋の仕様について   | もえるごみ袋が裂けやすく困っている。他の市町村よりも材質が悪いのではないか。裂けにくい丈夫な材質に変えてほしい。                     | ごみ袋の種類は大きく分けて2種類あり、伸びやすいタイプのも（低密度ポリエチレン）と伸びにくいタイプのも（高密度ポリエチレン）があります。伸びやすいタイプのもは重量のあるものだとして伸びて持ち手部分がちぎれてしまう恐れがあります。伸びにくいタイプのもは重量のあるものでも耐えられますが、紙の角などで裂けやすいです。双方にメリット・デメリットがありますが、現在のところ、レジ袋に代表されるように耐久性が高いため、伸びにくいタイプ（高密度ポリエチレン）のもので作っています。今後、市民のご意見も聞きながら、見直しについては検討していきたいと考えています。 |
| 22  | ごみ袋の仕様について   | Sサイズのプラスチック製容器包装が欲しい。もえるごみ袋を増額するだけでなく、分別を徹底するために、プラスチック製容器包装の袋を減額するのは施策はどうか。 | プラスチック製容器包装のSサイズは、市民の皆さんの要望が多いため、検討していきます。手数料については、市場価格と相応しており減額する予定はありません。                                                                                                                                                                                                        |
| 23  | 資源化について      | プラスチック製容器包装に付着しているシール・汚れ・においなど、取り切れない部分はしたら良いか。                              | プラスチック製容器包装に付着しているシール、汚れやにおいなどの取り切れないものについては、少々残っていてもリサイクルに支障はありません。汚れやにおいは水で軽くすすいでいただき、そのままプラスチック製容器包装として出してください。                                                                                                                                                                 |



## 意見交換会の主な意見（北小校区）

| No. | 分類              | 内容                                                                  | 回答                                                                                                                                                                                       |
|-----|-----------------|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 24  | ごみの減量が困難なものについて | 減量が困難で生活必需品の紙おむつの扱いは、どうなるのか。                                        | ごみ袋の増額は、令和4年6月議会で条例改正議案を上程する予定です。それまでには、意見交換会を踏まえ、福祉部局と連携しながら、紙おむつの扱いの方向性を決定する予定です。                                                                                                      |
| 25  | ごみの減量が困難なものについて | 減量が難しい刈草・剪定枝の扱いはどうなるのか。                                             | ごみ袋の増額は、令和4年6月議会で条例改正議案を上程する予定です。それまでには意見交換会を踏まえ、剪定枝の扱いの方向性を決定する予定です。                                                                                                                    |
| 26  | 不法投棄について        | 増額すると不法投棄が増えるのではないのか。                                               | 先行してもえるごみ袋を値上げした知多地域の自治体を訪問し聞き取りをしましたが、値上げが原因で不法投棄は増えていません。本市としては、現在も実施しているごみ集積所のパトロールを引き続き行っていきます。                                                                                      |
| 27  | 不法投棄について        | これまで不法投棄されているごみは拾って、自身で購入したごみ袋に入れて出していたが、今後お金を払ってまでごみを拾う気持ちになれなくなる。 | 不法投棄を拾った場合、環境課窓口で無料でお渡ししている地域清掃ごみ袋を使用して、ごみを出して下さい。                                                                                                                                       |
| 28  | 野焼きについて         | ごみ袋の値段が上がると、野焼きが増えるのではないのか？                                         | 法律で禁止されている野焼きについては、関係機関と協力して、情報の共有と迅速な対応を行っていきます。                                                                                                                                        |
| 29  | 広報の方法について       | ごみ減量に関する広報が弱いのではないのか。                                               | 広報の方法については、市としても課題であると考えています。広報紙・ホームページの他にさんあ〜る（ごみ出し支援アプリ）での啓発や、ごみ出し方法を記載したガイドブックを全戸配布、各地域へ出前講座に伺うなど複数の方法で広報していますが、今後もより多くの方に伝える方法を検討していきます。                                             |
| 30  | 他市町村の状況について     | 瀬戸市もごみ袋の値段を上げると聞いたが、尾張旭市も足並みを揃えないのか。                                | 今回の増額ですが、瀬戸市や尾張旭市とも情報共有しています。しかし、ごみ袋の値段は各市が独自で設定するため他市には関与できないのが実状です。尾張旭市については、平成30年にごみの有料化について検討を行っていますが、当時1人1日あたりのごみの量が減少傾向にあり目標値を達成していること、他の施策でごみ減量に取り組んで行くことから現時点では有料化を実施しないという方針です。 |

## 地域意見交換会の主な意見(西小校区)

| No. | 分類     | 質問内容                                                                         | 回答                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----|--------|------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | ごみの減量  | 値上げの目的は財源不足の補填なのか。                                                           | 今回の値上げの目的は、「ごみの減量」であり、財源確保のためではありません。ご負担いただいたごみ処理手数料の増収分については、ごみ減量・資源分別のための施策や日頃のごみ収集に関する課題解決のための施策に充て、より良い市民サービスに還元していきたいと考えています。                                                                                                                                                     |
| 2   | ごみの減量  | 市が考える「ごみの減量」とは何か。                                                            | ごみの減量方法として、①ごみの発生自体を抑制すること②分別行動を適切に行うことの2点あると考えています。                                                                                                                                                                                                                                   |
| 3   | ごみの減量  | ごみの減量の目的の値上げによって、実際にごみは減ったのか。                                                | 愛知県内の状況を見ると、新たな分別品目を増やし、ごみが減量した市町もありますが、武豊町では、市民の分別行動とごみの発生抑制の結果、値上げ前に比べて約16%のごみが減量しています。                                                                                                                                                                                              |
| 4   | ごみの減量  | 値上げの目的は、ごみ処理施設の建て替えに充てることも考えているのではないか。                                       | 今回の増額の主目的は、ごみの減量です。確かにごみが多ければ、処理施設の負担が増え老朽化が進み、補修工事に多くの費用が掛かってしまいます。ごみを減量できれば施設の延命化に繋がりますが、今後施設の建て替えを行うことはいずれにしても必要なことです。現在も施設の建て替えのために、指定袋の手数料ではなく税金で費用の積み立てを行っていることから、もえるごみ袋を値上げしたことで発生した増収分を施設の建て替えの費用に充てることは考えておらず、ごみ・資源の回収に係る施策に充てたいと考えています。                                      |
| 5   | ごみの減量  | ごみ袋増額の本来の目的は何か。                                                              | ごみ袋増額の本来の目的ですが、市民の皆様分別意識、ごみに対する意識を変えていただき、ごみを減量することです。そのためプラスチック製容器包装(資源)の指定袋の値段は変更なしとさせていただき、もえるごみ袋のみの値上げを考えています。もえるごみ袋のみを値上げすることで、現在もえるごみ袋の中に約30%混入している資源を分別する意識を高め、さらにはごみ自体も減量していただきたいと考えています。                                                                                      |
| 6   | ごみ袋の仕様 | もえるごみ袋Lサイズの容量は34リットルで、他市町では45リットルが主流であるが、容量を増やすことはできないか。                     | 現在の長久手市のもえるごみ袋Lサイズの大きさは34リットルですが、45リットルに大きくすると、それだけごみを多く入れることができ、ごみ減量には逆効果となるため、袋のサイズを大きくする考えはありません。                                                                                                                                                                                   |
| 7   | ごみ袋の仕様 | もえるごみ袋が裂けやすく困っている。他の市町村よりも材質が悪いのではないか。裂けにくい丈夫な材質に変えてほしい。                     | ごみ袋の種類は大きく分けて2種類あり、伸びやすいタイプのもの(低密度ポリエチレン)と伸びにくいタイプのもの(高密度ポリエチレン)があります。伸びやすいタイプのものは重量のあるものだとして伸びて持ち手部分がちぎれてしまう恐れがあります。伸びにくいタイプのものは重量のあるものでも耐えられますが、紙の角などで裂けやすいです。双方にメリット・デメリットがありますが、現在のところ、レジ袋に代表されるように耐久性が高いため、伸びにくいタイプ(高密度ポリエチレン)のもので作っています。今後、市民のご意見も聞きながら、見直しについては検討していきたいと考えています。 |
| 8   | ごみ袋の仕様 | もえるごみ袋の材質を変えると、透明になり中身が見やすくなってしまいうことから変更しないで欲しい。                             | 上記5の回答に加えて、現在の材質の伸びにくいタイプのもの(高密度ポリエチレン)は不透明で中身が見えにくく、伸びやすいタイプのもの(低密度ポリエチレン)は透明に近いので、中身が透けやすいのが特徴です。今後、市民のご意見も聞きながら、見直しについては検討していきたいと考えています。                                                                                                                                            |
| 9   | ごみ袋の仕様 | Sサイズのプラスチック製容器包装が欲しい。もえるごみ袋を増額するだけでなく、分別を徹底するために、プラスチック製容器包装の袋を減額するのは施策はどうか。 | プラスチック製容器包装のSサイズは、市民の皆さんの要望が多いので、検討していきます。手数料については、市場価格と相応しており減額する予定はありません。                                                                                                                                                                                                            |

## 地域意見交換会の主な意見(西小校区)

| No. | 分類          | 質問内容                                                            | 回答                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|-------------|-----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10  | ごみ袋の有料化     | 尾張旭市も指定袋制だが、剪定枝をごみとして出す際には、ごみ袋がなくても回収する。長久手市はごみ袋がないと回収しないのはなぜか。 | 指定袋制は2種類あります。尾張旭市の指定袋制は「単純指定袋制」といい、袋の価格にごみの処理料金は含まれていなく、袋の規格(大きさ、種類、色など)のみを定め、それにあった製造事業者の袋を認定し、一律の価格ではなく、事業者自由に販売してもらうというものです。一方、本市は、「有料指定袋制」を採用し、袋代にごみの処理費を上乗せし、市が販売する制度です。処理費も含めて市が条例で単価を決めて販売しています。よって、本市のごみ袋を購入することが市民にごみ処理料金を支払っていただいているため、ごみ袋を付ける必要があります。 |
| 11  | ごみ袋の仕様      | プラスチック製容器包装の袋が大きすぎて保管していると臭う。小さいサイズが欲しい。                        | プラスチック製容器包装のSサイズは、市民の皆さんの要望が多いため、検討していきます。                                                                                                                                                                                                                       |
| 12  | 資源化について     | プラスチック製容器包装に付着しているシール・汚れ・においなど、取り切れない部分はどうしたら良いか。               | プラスチック製容器包装に付着しているシール、汚れやにおいなどの取り切れないものについては、少々残っていてもリサイクルに支障はありません。汚れやにおいは水で軽くすすいでいただき、そのままプラスチック製容器包装として出してください。                                                                                                                                               |
| 13  | ごみの減量が困難なもの | 減量が困難で生活必需品の紙おむつの扱いは、どうなるのか。                                    | ごみ袋の増額は、令和4年6月議会で条例改正議案を上程する予定です。それまでには、意見交換会を踏まえ、福祉部局と連携しながら、紙おむつの扱いの方向性を決定する予定です。                                                                                                                                                                              |
| 14  | 支援の有無       | 所得収入に合わせて、助成することを考えているか。                                        | ごみの減量が目的のため、市民の皆さんに平等にごみ減量にご協力いただきたいので、同額の手数料を負担していただきたいと考えています。                                                                                                                                                                                                 |
| 15  | 補助金         | 密閉バケツのEMぼかし(生ごみ発酵剤)の助成金を出して欲しい。無料配布している市町もある。                   | EMぼかし(生ごみ発酵剤)の補助・無料配布については、調査・研究させていただきます。                                                                                                                                                                                                                       |
| 16  | 広報の方法       | ごみ減量に関する広報が弱いのではないか。                                            | 広報の方法については、市としても課題であると考えています。広報紙・ホームページの他にさんあ〜る(ごみ出し支援アプリ)での啓発や、ごみ出し方法を記載したガイドブックを全戸配布、各地域へ出前講座に伺うなど複数の方法で広報していますが、今後もより多くの方に伝える方法を検討していきます。                                                                                                                     |
| 17  | その他         | これまでの意見交換会の質疑応答を各会で配布して欲しい。                                     | 地域意見交換会の場でこれまでの質疑応答をまとめたものを配布する予定はありません。1月に全体の意見交換会を開催しますので、その際には、集約した質疑応答を資料として配布したいと考えています。                                                                                                                                                                    |